

週間市場レポート (2020年12月11日~12月18日)

1) 先週の市場動向

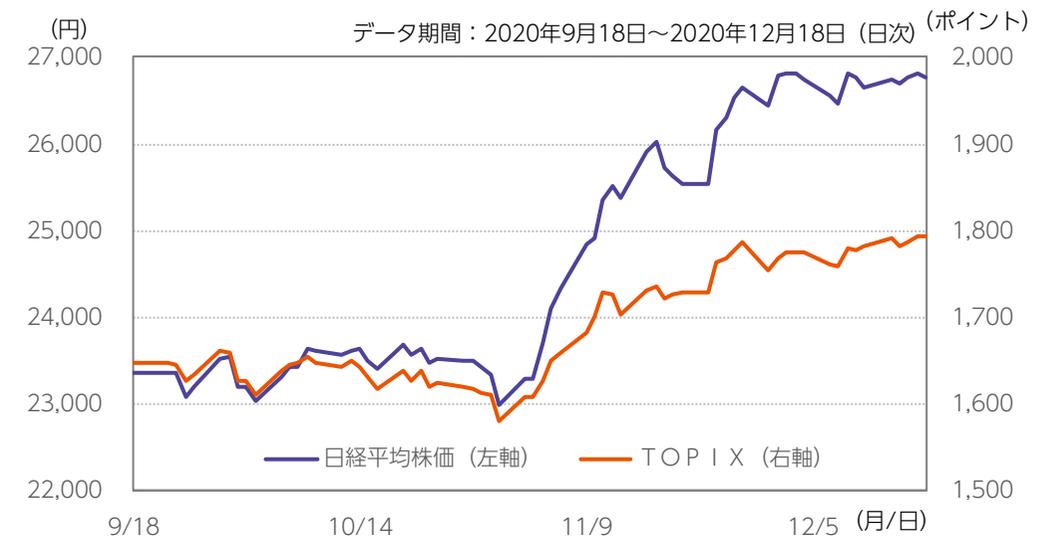
指数名	国	前週末 2020/12/11	先週末 2020/12/18	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		26,652.52	26,763.39	0.42 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,782.01	1,793.24	0.63 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		30,046.37	30,179.05	0.44 ↗
S&P500種指数		3,663.46	3,709.41	1.25 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,485.84	3,545.74	1.72 ↗
S&P/ASX300指数		6,622.60	6,657.40	0.53 ↗
上海総合指数		3,347.19	3,394.90	1.43 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		985.82	991.37	0.56 ↗
東証REIT指数		1,710.03	1,715.56	0.32 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		701.32	703.24	0.27 ↗
ASX300 REIT 指数		1,434.80	1,443.10	0.58 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		170.41	171.01	0.35 ↗
日本10年国債 (%)		0.014	0.010	▲0.004 ↘
米国10年国債 (%)		0.896	0.946	0.050 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.636	▲0.571	0.065 ↗
英国10年国債 (%)		0.172	0.249	0.077 ↗
ドル/円		104.04	103.30	▲0.71 ↘
ユーロ/円		126.04	126.62	0.46 ↗
英ポンド/円		137.57	139.71	1.55 ↗
豪ドル/円		78.40	78.76	0.46 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,704.08	2,764.74	2.24 ↗
WTI原油先物 (ドル)		46.57	49.10	5.43 ↗
CRB 指数		161.25	166.45	3.23 ↗
アレリアンMLP指数		888.71	853.82	▲3.93 ↘

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

2) 日本の株式・債券市場

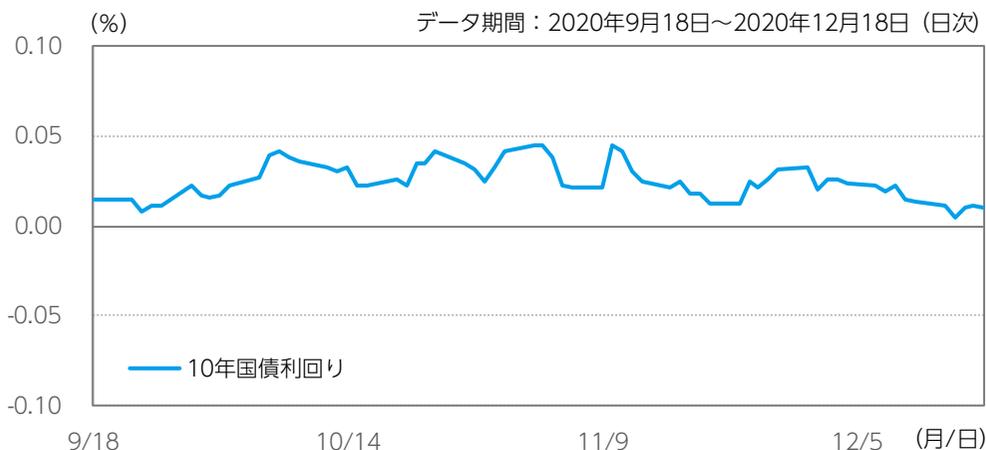
≪ 株式 ≫

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で横ばいとなりました。欧米で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始され、経済回復期待が高まったことなどから、週初は3営業日ぶりに上昇となりました。その後は、米追加経済対策をめぐる協議が進展するとの期待が高まる一方、世界的な感染急拡大による経済活動の再制限への警戒感の強まりなどから、週末まで一進一退の展開となりました。17~18日に開催された日銀金融政策決定会合で企業の資金繰り支援策の期限延長が決定されたものの、大方市場の予想どおりであったことから、株式市場の反応は限定的でした。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。週初は、日銀短観で企業の景況感が改善し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから相対的に安全資産とされる国内債券は売りが優勢となったものの（利回りは上昇）、その後は国内の感染急拡大により買いが優勢となり（利回りは低下）、週間では横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で横ばいとなりました。米国内での感染急拡大により、ニューヨークなどの主要都市で経済活動の制限が強化されるとの見方から、週初は下落となりました。その後は、追加経済対策が近く成立するとの見方が広がり上昇基調となったものの、週末は新たな進展がなかったことから、売りが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。国内外で新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、経済活動の制限による景気下押しへの懸念などから、相対的に安全資産とされる円を買う動きが優勢となりました。ユーロは、堅調な経済指標を受け対米ドルで上昇したことから、円もユーロに対し売りが進行しました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、ワクチン接種が可能となり景気回復期待が高まったものの、感染再拡大による国内外での経済活動の制限強化などが重荷となり、前週末比では横ばいとなりました。

米大手製薬会社が開発したワクチンに続き、米バイオ製薬会社が開発したワクチンも、米食品医薬品局（FDA）が緊急使用許可を認めました。同社のワクチンは温度管理の面で輸送や保管がしやすいことから、先進国のみならず新興国などへの早期普及も期待されます。協議が続く約9,000億ドル規模の米追加経済対策は、民主・共和両党間で大筋合意され、今週前半にも採決される見込みです。

今週の米国株式市場は、週前半の追加経済対策の成立への期待を支えに堅調に推移すると思われます。その後は、週末25日のクリスマス休場を控え、市場参加者が少なく、値動きの乏しい展開となることが想定されます。日本株式は、国内における感染者数の動向や米国株式市場の動向に左右されやすい地合いが続くものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>